

University Museum Owners Association

Humor Network



COMEDY NETWORK



突発!! ミーハー'95
 インタビュー
 辛口ゲーム批評で評判の
高木ブー
 氏に
 「バーチャルポンバーマン」と
 「とびだせ／ばにポン」をプレイしてもらった!!

ザ・ドリフターズの高木ブー氏のポンバーマン好きは、業界でも有名。そこでバーチャルボーイのポンバーマンシリーズをハドソンで遊んでもらって感想を聞いてみたぞ!!



▲B日は、外から画面が見えないから、アドバイスするダルダニアンも大変なのだ!!

ダルダニアン：（以下ダ）初めまして／まさか本当にこの企画が実現するとは思ってませんでした。

高木ブー氏：（以下ブ）新しいポンバーマンをプレイできるなら、どこへでもうかがいますよ（笑）。

ダ：では、まず「バーチャルポンバーマン」から遊んでもらいましょう。ブ：これをのぞきながらプレイするの？ああ／なるほど、いわゆるポンバーマンと同じタイプのゲームが立体に見えるわけね。へ～え／雰囲気はすごくいいね。まんなかの橋とかうかんでみえるし、ほかにも立体物のくふうがいっぱいあるね。

ダ：それでは次は、「とびだせ／ばにポン」をいってみましょう！

ブ：これはポンバーマンのキャラをつかった落ち物のパズルだね。このタイプのゲームは、すいぶん遊んだけど、ついクセになるよね。ヨツ／ハッ／トツ／…………（30分経過）

ダ：…あ、あのお。

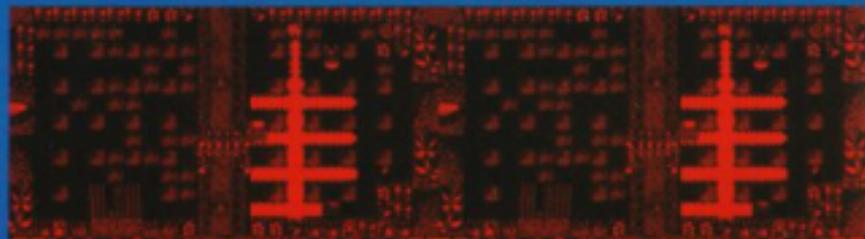
ブ：あっ／つい夢中になって（笑）。大きなパクダンとか迫力あるね。

ブ：いやあ／どちらのポンバーマンもよくできてるね／惜しいのは黒赤の2色しかないのと、画面が小さいことぐらい。でも、これはハードの問題だからしょうがないけどね。

ダ：「バーチャルポンバーマン」は、まだ開発中で、完成じゃないんですけど、楽しんでもらえてうれしいです。どーもおつかれさまでした。さ、それでは、このままつづけて、なだれ式にインタビューに突入！！



▲「バーチャルポンバーマン」「とびだせ／ばにポン」をプレイして、ご満悦のブー氏。



▲8月11日現在の開発画面の「バーチャルポンバーマン」。ブー氏の裁てるのはコレだ！

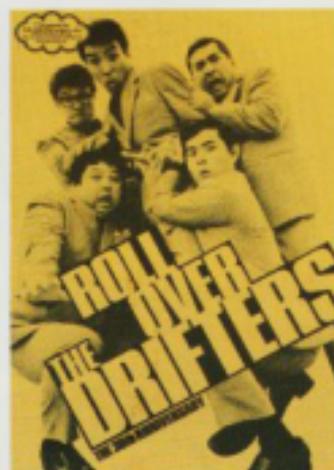
●なぜ名前が「高木ブー」なんですか?

ダ: これは、僕が産れたときからの疑問なんです! いったいなぜですか。
ブ: 別にデブだからってわけじゃなくてね(笑)。これは、大先輩のクリエイジーキャッツの、ハナ肇さんに、つけてもらったんです。「おまえら普通の名前じゃつまらんから、おれが芸名つけてやる!」ってね。

●ドリフのコントをすべて高木さんが考えるって本当?

ブ: そんなことはありませんよ(笑)、それは単なるウワサです。本当は、みんなでアイディア出しあって、イカリヤ長介がまとめてたんですよ。

写真は30年前のものなんだ!! このバンドで使われた



▲ブー店にキスをもとめるタルダーラン。ついでランちゃんをちゃつて



●バンドとしてのドリフターズで高木さんが担当したのは?

ブ: みんな知らないかも知れないけど、ドリフはもともとミュージシャンのグループで、僕はギター。荒井注がキーボード、イカリヤがベース、中本工事がリードギター、加藤茶がドラム。志村がまだいないころです。

●初めて遊んだテレビゲームはなんですか?

ブ: もちろんポンバーマン! ってのはウソで、やっぱりインベーダーかな? 僕、むかしから早稲田に住んでて、学生街だからゲームセンターが多くて、インベーダーはよく遊んだなア。コントでも使ったしね。

ダ: 「こんなゲームで遊びたい!」なんてのは、ありますか?

ブ: そーだねえ。カラーのバーチャルボーイみたいなので、全身囲われてるので遊んでみたいよね。

ダ: 本日は、ありがとうございました。

高木ブー氏のサイン入りソフトを4名さまにプレゼント

「スーパーポンバーマン」「スーパーポンバーマン2」「スーパーポンバーマン3」「とびだせ/ぱにポン」に、それぞれ高木ブー氏のサインを入れて各1名、全4名にプレゼント。希望者は、インタビューの感想と、どのソフトがほしいかを書いてP27の住所で「ふーちゃんのサイン」係まで。



▲僕らが生まれる前からスターだった高木ブー氏が、目の前でサインしてくれているわけだ、まるで夢のよう!



▲こちらは好評発売中の「とびだせ/ぱにポン」。平行視で立体に見える! (はず)